

ISECLの記号は、情報学教育協働学習環境のコードです。  
Textbookの数字は、教科書のユニット番号です。

# 情報安全と教育

教科書：松原（2014）ソーシャルメディア社会の教育，開隆堂.

表 1 securityの用語例とその意味

用 語	意 味
security blanket	子供が安心のために持っている毛布，精神安定のための物
security camera	防犯カメラ
security check	body search, 空港などでのボディチェック
Security Council	国連の安全保障理事会
security firm	警備保障会社
security pact/ security treaty	安全保障条約
security police	要人の警護に当たる保安警察
social security	英：社会保障，生活保護，福祉援助，米：welfare
security policy	企業などで，ネットワークの運営主体によって定められたセキュリティに関する内部規約

表2 2つの安全

	セーフティ	セキュリティ
名詞形	safety	security
(形容詞形)	(safe)	(secure)
意味	安全	安全
補足説明	一般的な安全	安全を確保するための具体的な証がある安全
例	road safety (交通安全)	security camera (防犯カメラ)

# 安全と安心／危険と不安

用語	意味
安全	安らかで、危害・危険がないという外的要因を生じる周辺状態
安心	安らかで、心配・不安のないという内的要因を生じる心理状態

⇔

危険

⇔

不安

# 安全学

- 「安全－危険」の軸
- 「安心－不安」の軸
- 「満足－不足」の軸

の総合的な観点で問題解決  
を行うもの



仮に，危険が回避されても，  
不安が解消されないことがある。

# 3つの情報安全

情報安全	①情報の本質に起因する安全 (information safety)	<ul style="list-style-type: none"><li>・安全な情報</li><li>・情報の安全な取扱い (情報の本質, 情報の表現や取扱い, 信頼性や信憑性など)</li></ul>
	②情報システムにかかわる安全 (information security)	<ul style="list-style-type: none"><li>・安全な情報システム</li><li>・情報システムの安全な管理・運営 (情報機器やネットワークにおける情報セキュリティなど)</li></ul>
	③情報社会における安全 (social safety and security)	<ul style="list-style-type: none"><li>・安全な情報社会</li><li>・情報社会における安全な営み (安全な組織・団体, 安全なコミュニティ, 安全な社会など)</li></ul>

表3 情報安全教育の各側面

側面	内容
心理的側面 (心理情報学)	物質とは異なる情報特有の性質や特徴、情報が人間に与える影響、情報と人間のかかわりを中心にして、安全という視点から情報を科学的に理解することなど
社会的側面 (社会情報学)	デジタル環境論、Web2.0、クラウド型知識基盤社会、ユビキタス社会等に象徴されるように、情報社会の特徴と人間とのかかわりを中心にして、安全という視点で社会を科学的に理解すること
倫理的側面 (情報倫理学)	情報モラルやマナー、倫理的・道徳的な知識・態度を育むこと
法的側面 (情報法学)	知的財産権、個人情報保護法、プライバシー権、情報社会の治安や安全という視点から関係する法律の理解など
技術的側面 (情報工学)	情報機器やネットワーク、情報システムのセキュリティなど
教育的側面 (情報教育学, 教育情報学)	情報安全教育に関わる内容論、方法論、比較教育論、情報安全教育の在り方など
その他 (情報学全般)	スキル、興味・関心、ICT環境、リスクコントロール等に関する多様な側面

# メニュー

次に進む ※これより先は非公開です。

PUSH

情報学教育協働学習 (ISECL) へ戻る

[PUSH](#)

情報学教育ポータルサイト (ISEPS) へ戻る

[PUSH](#)

松原研究室へ

[PUSH](#)



# 情報学教育の展開編

※これより先は、非公開です。